

# ジェノサイドに直面する パレスチナの 〈いま〉と〈これから〉



サリーム・アナティ医師／Dr. Salim Anati

シュファート難民キャンプ慈善協会理事長

国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）

シュファート難民キャンプ診療所前所長

ジェリコのアクバドジャベル難民キャンプ診療所元副所長

2023年10月からのイスラエルのガザ地区侵攻は、国際司法裁判所によるジェノサイド防止命令にも関わらずまもなく2年を迎えます。ガザのパレスチナ人は飢餓・医療破壊・爆撃に晒され、死者は関連死を含め何十万人にもものぼると推計されています。もう一つのパレスチナ占領地であるヨルダン川西岸地区でも、難民キャンプや市街地の家屋・インフラの破壊、入植者の暴力の激化などで「第2のガザ」が迫っています。

イスラエル建国（1948年）以来、追放と占領を経験してきたパレスチナ人に、いまや絶滅の危機が迫っています。パレスチナは一体どうなるのでしょうか？この度、北海道パレスチナ医療奉仕団の招聘で東エルサレム（ヨルダン川西岸地区の一部）の難民キャンプで医療活動を行うサリーム・アナティ医師が来日され、パレスチナの人々の〈いま〉と〈これから〉についてお話いただきます。ぜひ、サリーム医師の言葉を受け取ってください。

日時：2025年9月19日（金）18時 ～ 20時10分（17時半開場）

場所：名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう

恵館1階メアリーホール（裏面参照）

使用言語：日本語および英語（英語部分は通訳あり）

参加費：無料（申し込み不要）

対象：一般公開

パレスチナ・東エルサレムで難民医療に取り組む  
サリーム・アナティ医師来日講演

主催：名古屋学院大学国際文化学部

共催：北海道パレスチナ医療奉仕団

問い合わせ先：名古屋学院大学国際文化学部

金城美幸研究室 mkinjo@ngu.ac.jp

## サリーム・アナティ医師プロフィール

1960年、東エルサレムのシュファート難民キャンプに生まれる。両親は1948年のイスラエル建国時のナクバ（大災厄）で故郷を追われた。ルーマニア大学医学部卒業後、1985年からUNRWAの医師として難民の健康管理に取り組む。1996年にシュファート難民キャンプのUNRWA機関に務め、のちに診療所長となる。



診療にあたるサリーム医師と  
北海道パレスチナ医療奉仕団猫塚義夫団長

## 共催団体・北海道パレスチナ医療奉仕団より サリーム医師との活動について

2008年12月のイスラエルによるガザ攻撃に反対するデモで出会った市民たちによって立ち上げられた非営利団体。2025年9月までに16回、ガザ地区などパレスチナ各地に派遣団を送り、医療・子ども支援活動を行う。2010年のパレスチナ視察時、ジェリコのアクバドジャベル難民キャンプ診療所でサリーム医師と出会う。2013年からシュファート難民キャンプ診療所を活動拠点とし、サリーム医師と協力して西岸での活動を続けている。

### 会場案内

名古屋学院大学  
名古屋キャンパスたいほう  
恵館（めぐみかん）1階  
メアリーホール

googleマップ



〒456-0062 愛知県名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号

#### ◆「日比野」駅下車

1番出口を出てすぐ左へ（日比野交差点方面）。  
信号交差点を渡らず左へ約400m。

#### ◆「西高蔵」駅下車

2番出口から名古屋国際会議場方面へ進み、  
橋を渡り2つ目の信号交差点（日比野交差点）を渡らず  
左へ約400m。

